

## 論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称	博 士 （ 工 学 ）	氏名	DIDIK DWI PRASETYA
学位授与の要件	学位規則第4条第1・2項該当		
論 文 題 目 Enhancement of Meaningful Learning with Extension Concept Mapping (拡張概念マッピングによる有意味学習の強化)			
論文審査担当者			
主 査	教 授	平嶋 宗	印
審査委員	教 授	森本 康彦	印
審査委員	准教授	林 雄介	印
〔論文審査の要旨〕			
<p>本研究では、あるまとまった内容を何回かの授業等に分けて学ぶ段階的な学習において、各授業等の部分的内容に対応する概念マップを、個別に作成するのではなく、前回の内容についての概念マップを拡張する拡張概念マップを用いることが有効であることを実験的に検証すると共に、概念マップを自分で作成するスクラッチビルド概念マップを用いる場合と、提供された部品再構成として概念マップを作成するキットビルド概念マップを用いる場合の比較において、拡張キットビルド概念マップが拡張スクラッチビルド概念マップより高い効果を持つことを示している。さらに、段階的拡張概念マップのブレンディッド学習への適用についても検討している。</p> <p>本論文第1章では、本研究の位置付けと意義について述べている。</p> <p>第2章では、拡張概念マップ、キットビルド概念マップとスクラッチビルド概念マップ、およびブレンディッド学習の先行研究について述べている。</p> <p>第3章では、拡張スクラッチビルド概念マップ、拡張キットビルド概念マップそれぞれにおける利用活動の概要と、実験参加者、利用した学習課題および収集したデータについて述べている。</p> <p>第4章では、拡張スクラッチビルド概念マップの効果について報告している。</p> <p>第5章では、拡張キットビルド概念マップの効果について、拡張スクラッチビルド概念マップとの比較において分析し、報告している。</p> <p>第6章では、ブレンディッド学習への適用法について述べている。</p> <p>第7章で本手法の限界や今後の課題を踏まえて、まとめている。</p> <p>以上、審査の結果、本論文の著者は博士（工学）の学位を授与される十分な資格があるものと認められる。</p>			

備考：審査の要旨は、1,500字以内とする。